

# Frente



2023.3  
vol.92

## 事業報告

- 女性に対する暴力防止セミナー  
「加害者は変わるのか」
- 現在(いま)を生きる「男」のための処方箋  
“絶望”の時代の“希望”の男性学入門
- 四日市市・鈴鹿市・フレンテみえ 連携講座  
わたしも地域ももっとよくなる!

## 事業案内

- 池田理代子講演会  
『『ベルサイユのばら』と私の人生』
- 鹿田昌美講演会  
「母親になって後悔してる」

## 連載!

- 荻原くるみの「紹介したい企業！」  
第4回 株式会社光機械製作所(津市)
- フレンテみえではこんなこともやっています  
第4回 Web限定コラム 参画ゼミ



じぶんでいられるカンケイのために。

特集!

チェック  
してみよう!

あなたの恋愛大丈夫?

チェック  
してみよう!

# あなたの恋愛大丈夫?

あなたの過去の恋愛、今の恋愛、このようなことはありませんか?自分の恋愛に対する考え方や、言動を振り返ってみましょう。  
したりされたり、言ったり言われたりしたことがあれば、数を数えてみてください。

相手を突き  
飛ばす

自分の予定を  
優先しないと  
不機嫌になる

いつも  
奢らせる

今どこに  
誰にいるのか  
報告させる

「性的な画像や  
動画を送って」  
と言う

髪を  
引っ張る

話しかけても  
ずっと  
無視をする

借りたお金を  
返さない

「自分以外の  
異性と口をきくな」  
と言う

「好きなら  
できるだろう」  
と性的な  
行為を迫る

服で見えない  
所を噛んだり  
つねったりする

「別れたら死ぬ」  
と言って脅す

働くことを  
許さない

返信や  
電話の応答が  
遅いと怒る

「相手のためだ」  
と言って長時間  
説教をする

首を  
しめる

大切にしている  
ものを壊す

「別れるなら  
これまで使った  
お金を返せ」  
と言う

勝手に  
スマホの  
データを  
消す

嫌がっているのに  
キスをしたり  
体を触ったりする

壁際に体を  
押し付け  
逃げられない  
ようにして  
話をする

「バカ」などと  
傷つく呼び方  
をする

秘密や  
隠し事は  
しては  
いけない

人工中絶を  
強要する

自分の  
機嫌の悪さを  
人のせい  
にする

服装や  
髪型を  
自分好みに  
するよう言う

殴るふり  
をする

電話に  
出るまで  
何度も  
かけ続ける

避妊に  
協力しない

「浮気をしている」  
と疑ったり  
責めたりする

当てはまるものはありましたか?当てはまったパズルのマークをもとに、それぞれの数を数えてみましょう。右のページをめくると解説があります。

個

個

個

個

個

# 事業予告

4/29

## 令和5年度ファンファーレ事業 池田理代子講演会 「『ベルサイユのばら』と私の人生」

1972年の連載開始以来、数々の社会現象を巻き起こした名作『ベルサイユのばら』

物語に登場するオスカルは、女性でありながら男性として生きていかざるを得ませんでした。

周囲から求められる姿と自分自身との間で苦悩しながらも遅しく歩んでゆくオスカルの生き様は、いまも多くの読者の心を震わせ続けています。

性別による「らしさ」は、現代を生きる私たちにも大きな影響を与え続けています。そんな社会の中で、私たちは何を信じ、どんな人生を歩んでいけばよいのか。『ベルばら』の生みの親、池田理代子さんをお迎えし、作品やキャラクターに込めた想いなど、たっぷりとお話を伺います。

自分らしい未来の描き方について、一緒に考えてみませんか。



©池田理代子プロダクション



日時 **4月29日(土)**  
13:30~15:00

会場 三重県総合文化センター内  
三重県文化会館 大ホール

対象 すべての方

定員 500名

講師 池田理代子さん(劇画家・声楽家)

聞き手 須川亜紀子さん(横浜国立大学教授)

託児 あり 要事前申込  
0歳3ヶ月~小学3年生程度  
子ども一人につき1,000円  
託児申込締切4月15日(土)

参加  
無料

5/27

## 鹿田昌美講演会 「母親になって後悔してる」

結婚して母親になるのは当たり前?母親になったのは自分で望んだこと?母性があれば育児は楽しみに決まっている?母親になれば違う人生があったなんて考えるのは罪なこと?母親になって後悔しているなんて絶対に誰にも言えない?

女性たちの多くは、結婚し母親となることを社会から期待され、自分でもそれが当然と無意識に受け入れています。でも実は、母親であることを後悔する気持ちに悩み、自責の念を抱いている女性も多くいるのです。そうした母親たちの感情は、果たして彼女たち個人の母性や能力の欠如によるものなのでしょうか?

ベストセラーとなった書籍「母親になって後悔してる」の翻訳者である鹿田昌美さんをお招きし、「母性」の呪縛について考え、社会が女性に背負わせているものの重さについて語っていただきます。



オルナ・ドーナト 著 鹿田昌美 訳  
『母親になって後悔してる』(新潮社刊)



日時 **5月27日(土)**  
13:30~15:30

会場 三重県総合文化センター内  
男女共同参画センター3階 セミナー室C

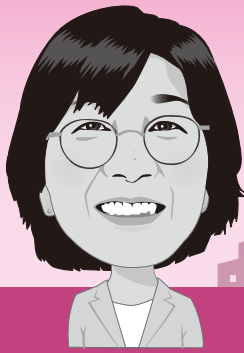
対象 県内在住・在勤・在学の女性

定員 50名(事前申込制)

講師 鹿田昌美さん(翻訳家)

託児 あり 要事前申込  
0歳3か月~小学3年生程度  
子ども一人につき1,000円  
託児申込締切5月13日(土)

参加  
無料



フレンチみえ所長の荻原の「紹介したい企業」シリーズ。今年度は男女共同参画の視点をもって様々な取組をすすめている三重県内の企業さんをご紹介します。今回は最終回です！

フレンチみえ所長  
荻原くるみの

# 紹介したい企業！

最終回 株式会社光機械製作所(三重県津市)

株式会社光機械製作所は、フレンチみえのほど近く、津市一身田にある1946年創業の工作機械メーカーです。世界へ通じるものづくりを続ける優良企業で、3代目社長に西岡慶子さんが就任して以来、「人にフォーカスした経営」で、成果をあげています。2014年には「APEC女性活躍推進企業50選」に選出(日本からの選出は5社)され、2021年には、西岡社長が男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰を受賞されています。西岡社長にお話を伺いました。



西岡慶子さん



西岡社長は、まったく違う職業からの転身だと伺っています。社長就任には、どんな経緯があったのでしょうか？

私は3姉妹の長女です。前社長の父は後継ぎについて色々と頭を悩ましていたようですが、私はというと、通訳の仕事をしていました。転機になったのは、米国人の夫の急逝です。夫の告別式での私の対応をご覧になっていた方々が、父に「次の経営を慶子さんに託してはどうか」とアドバイスされたようなのです。お世話になっていた顧問の方から「あなたの夫は、慶子さんを社会的に育てて、お父さんに返していったんじゃないか」と言われたのを覚えています。当時私は30代後半で、夫が亡くなってしばらくは「死にたい」とくり返していました。そんなある日小さな蜂に刺されて慌てて救急に飛び込んだのです。病院の帰り道、思わず笑ってしまいました。だって、全然死にたくなくてなかったんです。こうしたことが重なり、会社を継ぐことが、夫の遺言なのかもしれない、と思い、光機械製作所に入社しました。

女性社長ということで、就任時のご苦労はありましたか？

今は働く女性に追い風が吹いている感がありますが、当時はかなりの向かい風が吹いていました。社内でも女性はアシスタント職ばかり。そんな環境ですから、「女性が工作機械メーカーの社長になるなんて、ありえない！」と言われるような時代でした。工作機械メーカーでは、今も私の知る限り、私以外に女性社長はいないと思います。

入社してしばらくすると社内に不正があることがわかりました。その時に骨身に沁みたのが「企業は人がすべて！」だということ。男性偏重の一律性の組織を多様な人材が活躍する組織に変えるという強い思いで人材の確保・育成、働きやすい環境の整備、エンゲージメントの向上に取り組んできました。

それで、「人にフォーカスした経営」なのですね。その頃から、女性活躍を求めているのでしょうか？

形だけ数だけ「女性を増やそう」と思ったわけじゃないんです。純粋にやる気のある優秀な人材を求めたかったのです。

当時はまだ「お茶くみ」「コピー」が女性の仕事の代名詞だった時代でしたが、私が仕事をしてきた米国企業や通訳の世界ではそうした状況から脱し、スキルや能力を磨き社会で活躍したいという女性に何人も出会いましたので、そういう女性に入社してもらえたらと思いました。新卒入社にも力を入れ、学校周りをしました。何回か訪ねるうちに、先生から「1回学生に直接話をしてよ」と言ってもらえたりする。私の話に共感して入社してくれた社員もいますし、そうしたご縁で、今もつながっている学校もあります。地道な活動を続けていくなかで、取材を受けるなど「人にフォーカスした経営」について発信する機会も増え、女性の入社から社内での活躍、ひいてはロールモデルの育成につながっていきました。

リーダーのポジションで活躍されている女性もいますか？

工作機械メーカーですから、開発や設計が経営の中核にあたるのですが、そこでの女性の比率が今30%くらいになっています。

もちろん、最初から順調だったわけではありません。特に長年男性だけで構成されていた製造現場で文系女性が受け入れられるには時間もエネルギーも必要でした。悔しくて涙を流すこともあった女性社員は、今、社内でも一番大きな製造グループの長となっています。

人事の要諦は、適材適所です。そこには、性差は関係ありません。弊社の人材方針は「3Gs: ジェンダーフリー(gender-free)、ジェネレーションフリー(generation-free)、グローバル(global)」です。それから、学ぶ力は極めて重要ながら、学歴は不問。性別・年齢・国籍・学歴の4つにとらわれないことを大事にしています。

**多様な人材が活躍できるようになっていったのですね。**

私が最初に会社に入ったとき、ものづくりは技術系と技能系の男性のみで、ユーザーも男性でした。熟練の人であれば難なく使いこなせるでしょうが、今は多様な人が工場に働いていますし、海外にも出荷しています。それで、10年程前に、どんな人でも操作しやすいユーザーフレンドリーをコンセプトに一から機械づくりを見直しました。その開発には多様な人に加わってもらいました。そうすると、お客様からは機械が使いやすくなったという声をいただくようになりました。多様性の視点は、新しい価値や新しい製品・サービスにつながる可能性があると感じています。

多様性といっても、ただ色々な人がいればいいというわけではありません。多様な人の個性や能力を活かしてこそ、イノベーションの源泉となりえます。そうするためにマネジメントは、それぞれの個性と能力をよく見て、活躍してもらうために日頃のコミュニケーションを大事にしなければいけないと思います。

**すばらしい成果ですね。社員の育成も社長自らなさっているのでしょうか？**

人材育成のための経営塾を、15年前に始めました。営業の場だけでなく会社のことを社外にきちんと発信するためのプレゼンテーションの練習、よい企業風土の醸成のために優良企業の研究、数字やデータの重要性やその正しい理解、決算書の読み方などを若手リーダーの人たちを対象に一緒に勉強しました。そこで学んだ人たちが今、幹部となって活躍してくれています。

**西岡社長は、大学など社外でも人材育成に取り組んでいらっしゃいますね。特に女性人財の育成については、どのようにお考えですか？**

例えば、名古屋工業大学が主催している「女性技術者リーダー養成塾」がその1つだと思います。女性技術者が少ないため、ロールモデルがない会社も多いのが実態です。この養成塾では、女性技術者が長く活躍し続けるためのキャリアデザイン、チームマネジメントのためのコミュニケーションスキル、ものづくりの現場に特化したプロジェクトマネジメント、イノベーションのためのマーケティング、知財戦略という幅広いテーマで女性技術者のステップアップをサポートしています。こうした学びはもちろんのことですが、塾の一番の魅力は、同じ役割を持つ人たちが悩みや課題を共有できる仲間のネットワークの存在だと思います。

大手企業の方の参加が多いのですが、ダイバーシティ&インクルージョンや女性活躍などを掲げているものの、会社の実態はまだだと嘆く方も少なくありません。往々にして、男性の目から見た女性活躍がベースになっていることが多いので、ニュートラルな視点が必要だと思います。女性の比率を上げることが「目的」ではなく、イノベーションの創出に向けた風土づくりに、多様な視点が必要なのだと思います。

## 株式会社光機械製作所

〒514-0112 三重県津市一身田中野8-1

電話 059-227-5511

ホームページ <https://www.hikarikikai.co.jp/>

これからの企業には本質的な多様性が不可欠になってくるということですね。最後に、労働人口が減り生産性の低さが指摘されているなかで、いま頑張っている読者の皆さんへメッセージをお願いします。

いま経済界は、人的資本経営に注目しています。日本企業が元気になるためのベースは、やはり“人財”です。適材適所でイキイキ仕事をする社員の力の総和が企業の力です。働く時間は人生の中でとても長い時間ですから、その時間が充実しているかどうかは人生を大きく左右します。私は「Be Professional!」を信条としていますが、今自分が受けている仕事は、天職、神様から預かっている仕事だと思い、丁寧に自分らしく集中して最高の仕事ができるように務めています。それを日々続けていると、人のご縁、仕事のご縁も広がっていくように思います。

### エンゲージメント(engagement)

深い関わり合いや関係性を意味する言葉。働く場では、従業員の職場に対する「愛着心」や「愛社精神」を表します。エンゲージメントの高い職場では、従業員が職場からの期待を認識して自身の成長や仕事のやりがいを感じられ、職場全体に活気ある風土を生み出します。

### ロールモデル(role model)

規範や手本(model)となる役(role)で、働く場では、キャリア形成の模範となる人物をいいます。先に活躍する女性がロールモデルとなることで、多くの女性が自分のキャリアを想像しやすくなります。

### イノベーション(innovation)

新しいものを生み出す、あるいは既存のものを変革すること。特に、これまでになかった全く新しい考え方や技術を取り入れて、「新たな価値」を生み出し、社会に「革新」や「刷新」をもたらす変革を言います。

\* 下段のフレンテメモ「ダイバーシティ&インクルージョン」もぜひご参照ください。



### ★があったあなたは…… 身体的暴力の可能性あり!

★のマークがついた項目は、すべて身体的な暴力です。身体的な暴力とは、殴る、蹴る、髪を引っ張る、物を投げる、などといった暴力です。ケガをしなかったから、などと大したことがないと思いませんか? 暴力の強さやケガの有無にかかわらず、それらはすべて身体的な暴力です。

### ♥があったあなたは…… 精神的暴力の可能性あり!

♥のマークがついた項目は、すべて精神的な暴力です。精神的な暴力とは、どなる、脅す、暴言を吐く、無視する、大きい音をたてて怖がらせる、などといった暴力です。なかには、気に入らないことがあると、不機嫌になり、ケアをさせようとする人もいます。被害を受けている人は相手の顔色を窺い、相手の機嫌を損ねないようにと、常に緊張した生活を強いられています。身体的暴力と違い、身体の痛みはないかもしれませんが、のちの人生に大きく影響することもあります。

### ♠があったあなたは…… 経済的暴力の可能性あり!

♠のマークがついた項目は、すべて経済的な暴力です。経済的な暴力とは、必要なお金をいつも一方だけが負担する、仕事やアルバイトをさせない、お金の使い道を細かくチェックする、勝手にお金を使う、などといった暴力です。いつの間にか、一方は好きに買い物をするのに、もう一方は相手の許可がないと買い物ができない、という状況になっていませんか? 片方だけにしか自由になるお金がないのは対等な関係ではありません。

### ♣があったあなたは…… 性的暴力の可能性あり!

♣のマークがついた項目は、すべて性的な暴力です。性的な暴力とは、無理やり性行為をする、避妊をしない、中絶を強要する、嫌がっているのにポルノを見せる、などといった性に関わる暴力です。あらゆる性的な行為にはお互いの同意が必要です。これを「性的同意」といいます。気が進まないときには拒否していいのです。いつでも、誰でも性的な行為を自分で決める権利があります。

### ◆があったあなたは…… 社会的暴力の可能性あり!

◆のマークがついた項目は、すべて社会的な暴力です。社会的な暴力とは、交友関係を制限する、メールやSNSを細かくチェックする、どこに出かけるのかすべて報告させる、などといった暴力です。場合によっては、友人などの連絡先を消すように強要されることもあります。行動を逐一報告しなければならないというのはおかしいと思いませんか? お互いに自由に家族や友人などと連絡をとったり、一緒に出かけたりしてよいはずですよ。

みなさん、ご自分のことを振り返ってみていかがでしたか? もしかすると、「暴力ってほどではないし……」とか、「自分にも悪いところがあったからしょうがない」と感じた方もいたかもしれません。しかし、たとえどんな理由があったとしても、暴力をふるう側に問題があります。暴力は必ずふるった側が悪いのです。それなのに、被害者は自責の念や罪悪感を持たされることも少なくありません。それはいったいなぜなのでしょう?

暴力を振るう人は、「お前のためにやっている」、「お前が〇〇をできなかったからだ」などと、自分の暴力を正当化します。被害者は、暴力という「力」をもつ加害者によって「支配」され、自分が悪かった、と思込まされてしまうのです。「力による支配」が続くことで、被害者は本来持っている力を奪われ、「何をやってもだめだ」と暴力被害から抜け出すことができなくなってしまいます。特に「女性は控えめに、男性のあとをついていくもの」という思い込みをもつ人はまだまだ多くいます。それにより主従関係がつけられ、「力による支配」を生み出しやすくなっているのです。

これを読んで、少しでも「自分は暴力を受けているのかも……?」と思ったら、ためらわずに相談してください。あなたは一人ではありません。一緒にどうするか考えましょう。

相談してください

フレンテみえ相談室

詳細はこちら→



暴力について、もっと考えたい方へ

「大切な人はずなのに

一緒になるとなんだかツライ?なぜだろう…」

WEBで読めます→



## 事業報告

令和4年度女性に対する暴力防止セミナー  
加害者は変われるのか開催日  
11月5日  
土

11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。それに先駆けて、フレンテみえでは女性に対する暴力防止セミナー「加害者は変われるのか」を開催しました。

暴力加害者への臨床を行っている大船榎本クリニック精神保健福祉部長の斉藤章佳さん(精神保健福祉士・社会福祉士)を講師にお招きし、これまでのたくさんのご経験をもとにお話しいただきました。

冒頭に「加害者臨床」とは加害者への支援、ケアではなく、他者の行動や症状に対して責任をとるという点を重要視する、とお話しされ、被害者の回復促進という前提で取り組んでいくのが加害者臨床における方向性であるとご説明いただきました。

斉藤さんがこれまで数多くの加害者と関わってきた経験から、多くの加害者は認知の歪みから、自分の暴力を肯定する価値観を持っているそうです。「いやいやよも好きのうち」「被害にあうのは女性にも落ち度があったのではないか」といった、加害行為を正当化する価値観をこの日本社会のなかで学んでしまう現実についてお話しいただきました。その背景にある女性をモノ化(性の対象)して消費する歪んだ考え方がはびこる社会のことを「男尊女卑依存症社会」と語られました。

現代を生きる『男』のための処方箋  
～“絶望”の時代の“希望”の男性学入門開催日  
11月20日  
日

目まぐるしく変わる社会情勢の中で男性がこれから自分らしく生きていくためのヒントとして、「男性学」に関するお話を社会学者の田中俊之さんにお話しいただきました。

今回は初めての試みとして、伊勢市・伊賀市・東員町の各市町に講演の様子を配信し、県内各地からご参加いただきました。

男性学とは、男性が男性ゆえに抱える生きづらさに着目した学問のこと。田中先生によると、これまでの日本社会が男性に求めてきたものが、現代の男性の生きづらさを生み出す要因になっており、これからの時代を生きていくためにはそういった固定観念を手放し「積極的寛容」の心を持つことが大切であると話しされました。私たちは自分と違う人が目の前にいるとき、相手に「変わることを」求めてしまいがちですが、一人ひとりが積極的寛容の心を持ち、相手に変わることを求める前に自分が変わろうとすることが、これからの時代「多様性の時代」に大切な視点なのではないかと提言され、お話を締めくくられました。

これからの時代を生きていくために、いかに自分自身をアップデート(更新)していくか、その必要性を感じさせられる講演でした。

フレンテみえ 種まきプロジェクト！ “地域”編 四日市市・鈴鹿市・フレンテみえ 連携講座  
わたしも地域も もっとよくなる！  
～マインドチェンジ! やってみたい、わたしができるコト～開催日  
8月28日～12月4日  
日 日

あなたが感じている「自分もまちも、もっとこうならいいのに」という想いを叶えるために必要な意識や手法を仲間と学ぶ“地域”編。講師にパブリック・ハーツ株式会社代表取締役の水谷香織さんをお招きし、四日市市と鈴鹿市との連携講座として開催しました。

講座では、参加者が「自分はできる!大丈夫!」と自信をつけたり、自らを見つめ将来のビジョンを描いたりなどの様々なワークが、仲間同士で楽しく会話をしながら進められました。また、四日市市では自治体と民間とのまちづくりプロジェクトの現地視察、鈴鹿市では議場の見学や現職の女性市議会議員との意見交換会、最終回では実際に県内で夢を叶えて活動されている女性をお招きしてお話を伺うなど、レクチャーだけに留まらず、全回通して非常に充実したプログラムとなりました。参加者からは「毎回の講座で自信をもらえた。自分や地域を考える貴重な機会だった」「市民として何かしたいという思いが芽生えた。何か動き出したい」など、前向きな声が多数寄せられました。

地域の女性の皆さんが元気に“一歩”を踏み出すための応援団として開催している「種まきプロジェクト“地域”編」。次回はあなたの“まち”におじゃまるかも。



第4回

# フレンテみえではこんなこともやっています インターネットで 参画ゼミ 男女共同参画の学習を

三重県男女共同参画センターでは、性別にかかわらず、すべての人が困難を抱えることのない社会をめざし、男女共同参画に関する様々な情報を発信しています。この情報誌もその一つですが、実は、WEB限定のコンテンツもあります。

2003年から続けている「男女共同参画ゼミ」というコラムです。略して「参画ゼミ」。初めての方にも分かりやすく、関心のある人にもさらに学んでいただけるよう、男女共同参画に関する旬のテーマを、幅広いジャンルで取り上げています。毎回、1~3回の連載で、県内外の専門家が、男女共同参画ゼミのために特別に書き下ろしています。



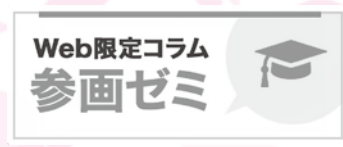
その参画ゼミの新連載が、3月に続々始まります！ぜひ期待ください！

- 新連載のテーマ (予定)**
- ①「学校教育とジェンダー」
  - ②「モラルハラスメント」
  - ③「スポーツと女性の健康」



参画ゼミは  
こちらから

フレンテみえのWEBサイト  
からは、トップページ右側  
この↓バナーをクリック！



過去の連載もご覧いただけます。近年の連載 「ヤングケアラーの現状 課題解決に向けて」2022年3月、「こころのケガの理解と手当て〜トラウマインフォームドケア〜」2022年2月、「不幸にならないための性教育から 幸せに生きるための性教育へ」2021年8月、「職場における多様な性のあり方への理解を進めるために」2021年2月、「自己肯定感について知ろう」2020年9月

このゼミが、ひとりでも多くの方々に「男女共同参画」について考えていただく機会となりますようお願いしています。取り上げて欲しいテーマなどありましたら、ぜひリクエストをお願いします。参画ゼミのアンケートまたはメールでお寄せください。

参画ゼミの  
アンケート→

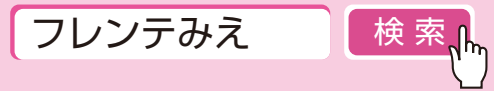


このコーナーでは、イベントや事業ではないフレンテみえの隠れた(?)取組について、スタッフの目線でご紹介していきます。気軽に読んでいただきながら、知られざるフレンテみえを発見していただけたら嬉しいです。次回もお楽しみに。

## フレンテみえって、なに？

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流および人材育成の「6本の柱」で、様々な事業を展開しています。ぜひ皆さま、お気軽にお立ち寄りください！

～詳しい情報はホームページまで～



生き方・家族・人間関係・離婚・職場 などなど…  
男女がともに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

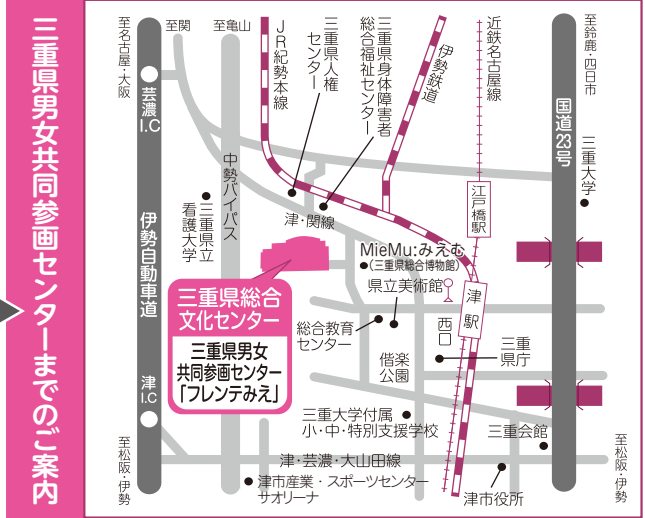
**女性のための電話相談** 秘密厳守・相談無料

フレンテみえ相談室 **専用ダイヤル 059-233-1133**

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00~12:00	休館日	●	●	●	●	●	●	●
昼 13:00~15:30	休館日	●	—	—	●	●	●	●
夜 17:00~19:00	※	—	—	●	—	—	—	—

※祝日の場合「朝・昼」相談あり(翌平日が休館日)

\*このほか、女性のための面接相談・法律相談・心理相談と、男性のための電話相談「みえ」にしている相談を実施中。詳しくはお問合せください。



休館日 毎週月曜日 年末年始 (12月29日から1月3日まで)  
交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分  
■徒歩/津駅西口から約25分  
■自家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分  
※駐車場は1400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

発行 **三重県総合文化センター**  
**三重県男女共同参画センター フレンテみえ**  
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地  
TEL:059-233-1130 FAX:059-233-1135  
URL <https://www.center-mie.or.jp/frente/>  
E-mail: [frente@center-mie.or.jp](mailto:frente@center-mie.or.jp)

フレンテみえ相談室のご案内  
(切り取ってご利用ください)



再生紙を使用しています。